# **道産ワイン気候変動対策研究・普及啓発事業委託業務**

# **企　画　提　案　書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　年　　　月　　　日

北海道知事　　鈴木　　直道　　様

法人等又はコンソーシアム代表者

（所 在 地）郵便番号

　　　　　　住所

（法 人 名）

（職・氏名） 印

　　　　　　　　　　コンソーシアムの名称（コンソーシアムの場合のみ要記入）

連絡担当者

（職・氏名）

（電話番号）

（Ｆ Ａ Ｘ）

（E-mail）

※プロポーザルは匿名で行うため、上記「事業者又はコンソーシアム代表者」、「連絡担当者」については、１部のみ記入し、残りの８部については、未記入とすること。

※事業者又はコンソーシアム代表者名を記入した1部については、左綴じせず、ダブルクリップ等で留めること。

１　提案者の概要等

（１）主な業務内容（コンソーシアムの場合は個々の企業毎に記載）

（２）本業務と類似した業務の実績（コンソーシアムの場合は個々の企業毎に記載）

※コンソーシアムの構成企業名については、実名ではなく、Ａ社（企業）、Ｂ社（大学）などと記載の上、上記の項目について記載。

　※「参加表明書」の記載事項以外で、専門とする分野や得意とする分野、本業務に類似する業務の実績を簡潔に記載。（図表等の使用も可）

２　企画内容

　　以下の業務について、実施内容や手法、効果される効果など、具体的に理解できるように記載し

てください。

　※文書を補完するために、写真、イラスト、イメージ図等を使用してもかまいません。

|  |
| --- |
| （１）気候変動の影響により北海道のワイン産業が抱える課題を解決するための方法に関する研究  道内ワイナリー・ヴィンヤードが現在抱えている課題や、今後見込まれる課題をあげた上で、当該課題を科学的根拠に基づき解決するための方法を、必要な調査、研究等を実施する。  なお、解決を目指す課題については、醸造用ぶどうの栽培に関する課題及びワインの醸造に関する課題の、いずれも含むものと実施する。  ただし、同一内容で、既に他の公的機関や財団等から、助成金、補助金、委託費等を受けている研究、または、受ける予定のある研究については対象外とする。  （２）研究成果の普及啓発  上記（１）で行った研究等の成果を道内のワイナリー・ヴィンヤード・研究者等に対し、セミナーを実施する等、以下の内容で普及啓発を行う。  　　ア　開催場所、回数  　　　　オンライン又は会場におけるセミナー等を１回以上  　　イ　参加対象  　　　　道内のワイナリー・ヴィンヤード・研究者等  　　ウ　参加人数  　　　　60名程度（上記イの参加対象の人数） |

３　業務実施の体制について

|  |
| --- |
| ※　業務実施の体制を記載。実施体制を体系的に図示することが望ましい。  ※　業務の執行体制（実施責任者及び担当者の年齢、役職名、主な活動経歴）及び関係団体や専門家等との連携、その他体制の特徴等を記載。  ※　コンソーシアム実施体制については、構成企業名を実名ではなく、Ａ社、Ｂ社などと記載の上、上記の項目について記載。 |

４　業務スケジュールについて

|  |
| --- |
| ※　道との協議時期を含め、報告書の提出までの一連の流れがわかるよう、月別上・中・下旬別に記載。  　　（委託期間は、令和６年４月上旬から令和７年３月31日までを予定） |

５　業務処理に要する積算金額（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

|  |
| --- |
| 〈積算金額〉  円 |
| 〈内訳〉  ※　内訳については、人件費・報償費・使用料・消耗品・旅費・通信運搬費など、積算根拠を明確に記載。 |

６　その他の特記事項

|  |
| --- |
| ※　補足して記述したい事項や要望等がありましたら、記載してください。 |

　※筆ようであれば資料を添付してください。（Ａ４版、様式自由、写真・イラスト等の使用も可）